



インフルエンザについて



最近、テレビ・新聞等では毎日のようにインフルエンザについて報道されています。通常、インフルエンザというものは、「冬場に起こるもので夏場には起こらない」といった認識を持っていたと思います。

しかし今年は、夏場にも関わらずインフルエンザが流行し、なかには死亡に至っているケースも散見されます。一年を通じて流行しているインフルエンザの大半は、季節性インフルエンザと違い、新型インフルエンザと呼ばれています。

では、新型インフルエンザとは何でしょうか？

ここで薬剤科に問い合わせのあったインフルエンザ情報を Q & A 方式で紹介します。

Q. 新型インフルエンザと季節性インフルエンザの違いは何ですか？

A. 下表参照

	流行期(季節)	免疫の有無	発生	死亡例	症状
季節性 インフルエンザ (A 香港型、 A ヴ連型、B 型)	毎年冬期。 主に北半球で 流行する。	ほとんどの人が 基礎免疫を持っ ている。	人口の 約 10 ~ 20%。	喘息、糖尿病等持 った患者や高齢者 以外で死亡例はほ とんどなし。	発熱、咳、喉の痛 み、悪寒、倦怠感、 関節痛は共通。
新型 インフルエンザ (A/H1N1)	30 ~ 40 年に 一度。 冬とは限ら ない。	基礎免疫を持っ ている人はいな い。	世界中でま ん延する可 能性あり。	喘息、糖尿病等持 っていない患者で あっても重症・死 亡する場合あり。	新型では下痢の報 告もあり。

Q. 新型インフルエンザに季節性インフルエンザワクチンは効きますか？

A. みなさんが普段接種しているワクチンは、季節性インフルエンザのワクチンです。

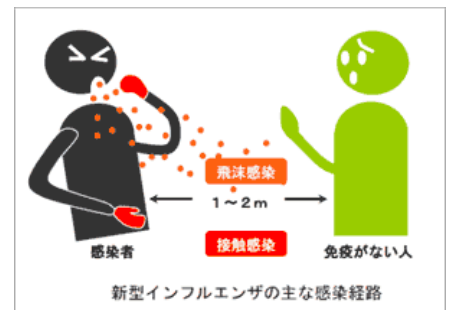
これは例年、流行する型を予測し作られています。新型インフルエンザは季節性インフルエンザの抗原性(発現性)が大きく異なるため効果は期待できないでしょう。

Q. インフルエンザの治療法は何ですか？

A. 主な治療法は抗インフルエンザ薬(タミフル、リレンザ)の投与です。インフルエンザはウイルスのため抗生物質は直接的な効果はありません。タミフルは内服薬でカプセルと粉薬(小児用)があり、リレンザは吸入薬です。ただし、最近では、ウイルスの耐性獲得もあり本当に効果があるのか分からない状態になっているのが現状です。よって症状に合わせた対症療法が治療のメインとなっているようです。

Q. どうしたらインフルエンザにかからないでしょうか？

A. 当然予防法を徹底することです。人ごみを避けること。(病院に来れば安全と考えている人もいますが、病院が実は感染を起こしやすい一番危険な場所です。)人ごみに行く場合はマスクの着用、帰宅時は手洗い、うがいの励行、アルコール消毒液による手指消毒も有効でしょう。



参考：厚生労働省インフルエンザ関連情報

インフルエンザについて簡単に述べましたが今後状況がどういう風になるかわかりません。ある地域で急速に流行することも考えられます。一番大事なことは、自分で自分の身を守ることが重要です。予防法はしっかりと行いましょう。

薬剤科 高橋典哉

インフルエンザ流行による面会禁止のお知らせ

インフルエンザが流行しており、入院患者への感染防止のため面会は**原則禁止**といたします。

なお、ご家族の方など面会が必要な場合は必ずマスクを着用し、病院入口にある消毒液にて手指の消毒を行ってください。

病院長